

主体的・対話的で深い学びをどう実現するか ～授業改善に益々求められる教育相談のスキルと考え方～

講 師： 小林 昭文 氏（産業能率大学経営学部教授）

私は埼玉県立高校教諭時代に物理をアクティブラーニング型授業(AL型授業)に切り替えて、「居眠り皆無」「成績向上」「進度向上」等の成果を上げてきました。定年退職後は大学教授等の仕事の傍ら、全国を回って年間100回以上の研修会講師も務めてきました。

それらの体験を通して、日本の学校教育の全ての授業をAL型授業にするべきだと強く感じています。この視点に立って、AL型授業の定義・意義・成果・課題などを論じます。更に、階段教室でもできるAL型の研修会も紹介したいと思います。

特に生徒たちの主体的で協働的な学びを促進すると、ハンデキャップを持っている生徒たちを支援するのに少ない労力で大きな効果を上げることも取り上げます。

2017年

3/25 (土) 15:00-17:00

会 場： 文教大学越谷校舎 12号館1階 12101教室
(東武スカイツリーライン 北越谷駅下車 徒歩12分)

参加費： 埼玉・茨城支部会員…無料 その他…500円

- ※ お申し込みは不要です。当日直接会場にお越しください。
- ※ 駐車場はありません。必ず公共交通機関をお使いください。
- ※ 受講票は当日お渡しいたします。学校心理士の方は「研修会参加記録」をご持参ください。
- ※ 研修ポイント獲得のためには、遅刻、早退はいっさい認めません。(認定委員会決定)

お問い合わせ先：日本学校心理士会埼玉支部事務局



文教大学教育学部心理教育課程 会沢信彦
〒343-8511 越谷市南荻島3337
TEL: 048-974-8811
FAX: 048-974-8877
E-mail aizawa@koshigaya.bunkyo.ac.jp